

協働事業提案書

令和〇〇年 〇月 〇日

団体名	森林を守る会 フォレスト・キーパー	
所在地	石狩市〇〇〇〇〇〇	
代表者	氏名	(肩書) (氏名) 代表 石狩 花子
	住所	石狩市〇〇〇〇〇〇
連絡 責任者	氏名	同上
	住所	同上
	電話・FAX	0133-〇〇-〇〇〇〇 / 〇〇-〇〇〇〇
	E-mail	〇〇〇@〇〇〇〇〇. 〇〇. 〇〇

1. 提案事業の概要について

(1) 事業名称	「森のサポーター」の養成
(2) 事業目的	森林保護の市民啓発
(3) 具体的な事業内容 (場所・対象・スケジュールなど具体的に)	<p>私たちの団体では、植林、間伐などを通じて、森林の保護に取り組んでいます。</p> <p>「森のサポーター」とは、森林への理解者のことで、次のプログラムに参加した方を市が認定し、当団体で作成した木製のペンダントを差し上げます。</p> <p>○ 木育推進プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐材を30センチ程度に寸断し、小中学校へ配布。授業の中で生徒が色を塗ったり、彫刻刀などで削るなど自由に加工してもらう。木に触れる機会が少ない生徒たちに、石狩で育った木に接してもらうことで、自然の大切さを体感してもらいたい。当団体のメンバーが講師になることも可。時期は、1年を通して可能。 <p>○ おいしい間伐体験ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐作業体験を通して森を守ることの必要性、大切さを知ってもらう。また、集めた枝を燃やし簡単な食事(ピザや燻製等)を作るなど、いろいろな形で森を体験してもらう。時期は、春から秋にかけて行う。

(4) 審査基準

① 公共公益性（市民や地域に幅広く貢献する。）

石狩の地で長い時間をかけて育った木に直接触れる体験を通して、市内児童や生徒の豊かな感性や想像力を育み、自然の大切さや共に生きる素晴らしさを学ぶ機会になる。また、間伐体験ツアーでは、多世代が集まり、さまざまな形で森林と触れ合うことで、自然と共存しながら暮らす喜びや、先人たちが守ってきた森林を次世代へ引き継ぐことの大切さを伝えることができる。

② 事業必要性（地域課題や市民ニーズを反映している。）

地球温暖化の原因になる二酸化炭素の吸収や、水の浄化、多様な生態系の形成、木材資源を供給するなど、森林を保護することの重要性は計り知れない。本事業による五感を使った体験を通して、その意識の醸成が期待できる。

③ 事業効果性（協働で実施することにより事業効果が高まる。）

当団体は森林の保護に取り組んでおり、実践のノウハウがあり、行政には広報やホームページなど市民や地域、メディアに情報を届けることができるので、お互いが補完し合うことで、有意義でより効果の高い事業を実施することができる。

④ 実効性（役割分担が明確で提案団体の実施が可能である。）

当団体は昭和〇年に設立し、〇年間に渡って森林保護に携わってきた実績があり、これまで培ってきた経験や専門的な技術・知識を活かした事業の実施が可能である。

⑤ 協働波及性（他の市民や地域への広がりが期待できる。）

小中学校での木育推進プログラム、多世代が参加できる間伐作業体験ツアーにより、大人から子どもまで交流の輪を広げながら、森林保護への意識を高めていくことができる。

